

ごあいさつ



トーナメントディレクター

高橋 孝由
(NTTビジネスアソシエ東日本)

第37回DUNLOP SRIXON社会人テニス選手権・東京大会の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

ゴールデンウィークに入り爽やかな初夏を迎える今日この頃ですが、本格的なテニスシーズンの幕開けの前に体力作りに励んでおりますでしょうか。

日本人活躍の錦織圭選手はバルセロナ・オープンで準優勝、そしてマドリード・オープンでは過去6戦全敗だった強敵に7戦目にして初勝利を奪い、準々決勝では2時間半を超える激戦を制し、準決勝では終盤に驚異の粘り腰を見せたが決勝進出はならなかったものの4強入りを果たした。

今大会では、現在のトップ20で勝ち星を挙げていない選手はいなくなり、大きな関門をクリアし、テニス界に大きな旋風を巻き起こしています。

そして恒例の真夏の大トーナメントであるDUNLOP SRIXON社会人テニス選手権も選手の皆様で大いに盛り上げていただきたいと思います。

本大会は男女ともクラス別で実施し、Aクラスを除き1回戦で敗れても敗者戦<サバイバル戦>により最低2試合はできます。なお、今年度も年齢別男子シングルスは、45歳以上と50歳以上の部に分けて実施し、また昨年度に引き続き女子40歳以上のシングルスとダブルスも実施します。

優勝を目指して熱い戦いが展開されることを期待すると共に、ラストショットまで、集中力を切らさずにどうぞ日頃の練習成果を存分に発揮していただきたいと思ひます。

今回も約1,200名以上の参加者に満足いくような大会運営を目指し実業団委員会・審判委員会で運営いたしますので、皆様のご協力も欠かせません。どうぞ選手の皆様にもご協力を併せてよろしくお願ひいたします。

最後に本大会のご後援いただく(株)ダンロップスポーツマーケティング様に対し御礼申し上げますと共に、出場チーム選手にとって実りある大会となりますようお祈りいたします。



株式会社ダンロップスポーツマーケティング
代表取締役社長

尾島 祐輔

この度は熊本地震で亡くなられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された方々に対しまして謹んでお見舞い申し上げます。被災地が一日も早く復旧されますよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、第37回DUNLOP SRIXON社会人テニス選手権・東京大会が今年も一般社団法人東京都テニス協会様主催のもと盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

本大会は、各企業で活躍される社会人の方々のテニスのレベルアップと、お互いの交流をより一層深めることを目的として創設された大会と承っております。これもひとえに、本大会を創設されました一般社団法人東京テニス協会実業団委員会をはじめとする関係各位の熱意と努力の賜と確信いたしております。

種目も男子・女子・年齢別とそれぞれで多くのクラス分けがなされており、Aクラス以外の種目については敗者戦により最低2試合楽しめる大会でもあります。

Aクラスに出場された選手の中には、元日本リーグ経験者やこの大会での優勝を機に全日本テニス選手権に出場された選手もおられます。また、社会人になって初めてラケットを握りDクラスから参加し、ついにはAクラスにまで登りつめた方もおられると伺っております。

このように選手の実力に合わせてエントリーができるため、参加者も延べ1,000名以上のビッグな大会となり、社会人テニス界の普及発展に多大な貢献をしておられます。

このような意義のある素晴らしい大会に、私どもダンロップスポーツマーケティングが協賛会社として、協力させていただけますことは誠に光栄なことであり、本大会の成功のために甚だ微力ではございますが出来る限りの協力をさせていただきますとともに、今後もテニス界発展のために一層の努力をしていきたいと考えております。

最後に、本大会の開催に際しまして、主催者であります一般社団法人東京都テニス協会様、運営にあられます一般社団法人東京都テニス協会実業団委員会の皆様、各分野でご尽力されました関係各位に心から敬意を表しますとともに、本大会のますますのご発展をお祈り申し上げます。